

受付番号

平成 年 月 日

国立大学法人奈良女子大学長 殿

所属・職名

氏 名

(発明等に係る届出者が複数の場合は、連記してください。)

発 明 等 の 届 出 書

このたび、下記の発明等をしましたので、「国立大学法人奈良女子大学職務発明等規程」に基づき「発明等の経過及び内容説明書（様式 1 - 2）」を添付して届け出ます。

記

1. 発明等の名称
2. 発明等に要した経費の名称
3. 研究に使用した施設・設備
(発明等に至るまでの研究について、その行った場所及び使用した設備について具体的に記載する。)

発明等の経過及び内容説明書

発明等の経過

1. 発明等の名称

2. 発明者

住所(番地まで)及び氏名をフリガナ付きで記載し、所属・職名も記入する。

発明者が複数いる場合は、すべての氏名、所属・職名を記入し、持ち分を()で記入する。

3. 出願の緊急度

緊急に出願を行う必要がある場合は、その理由を付して出願の期限を記入すること。

4. 発表の状況

(イ) 未発表

発表予定の有無について記入

(1) 発表予定 有 無

(発表予定者のみ記入)

発表予定日 年 月 日

(ロ) 発表済

下記項目のうちの該当項目についてのみ記入

(1) 試験による発表 年 月 日

(2) 刊行物に発表 年 月 日

刊行物名

(3) 学術団体における研究集会で発表

年 月 日

予稿集発表 年 月 日 (発行日)

年 月 日 (発表日)

(a) 学術団体名

(b) 研究集会名

(4) その他

5. 関係のある特許公報あるいは公開特許公報の番号が判明している場合は、その番号

6. 出願審査請求の希望時期

7. 外国出願の必要性がある場合は、理由及び出願希望国名

発明等の内容

1. 発明等の属する技術分野

2. 従来技術の概要とその問題点

出願しようとする発明等に最も近い従来技術を記載することとし、必要があれば、
図面を付して説明する。

従来技術がない場合はその旨を記載する。

3. 発明等の目的

解決しようとする問題点、産業上の利用分野等を第2項との関連において記載する。

4. 適用できる製品名

5. 発明等の具体例

(1) 構成

(a) 構造物(装置、器具、その他の物品を含む。)に関する発明等

その構造を成立させている各要素及びその要素の材質や形状、並びに各要素間の構成上の相互的な関連について添付図面中に記入した各部の番号を参照して詳細に説明する。

(b) 回路(電気回路、油圧回路等)に関する発明等

回路を構成している各素子と、これらの結合関係について、添付図面中に記入した各部の番号を参照して詳細に説明する。

(c) 組成物(新規の物質、合金、素材等を含む。)に関する発明等

各材料の配合割合、用途若しくは使用の態様、性質等について必要があれば添付図面又は実験データ等を記載した表などを用い、さらに化合物名や化学構造式(一般式)が判明しているときはこれについても詳細に説明する。

(2) 作用

発明等の構成からもたらされる機能や使い方、扱い方等を記載する。

(3) 効果

発明等によって生じた特有の効果を従来技術と比較しながら、なるべく具体的に記載する。

- 上記「5.本発明等の具体例」の記入に当たっては、発明者が最良の結果をもたらすと思うものをなるべく多種類掲げて記載し、必要に応じ具体的数字に基づいて事実を記載する。
- 方法の発明の場合は、その方法の各工程や使用の順序を作用とともに経時的(同時でもよい)に記載し、必要があれば使用装置の図面を添付して、その各部に記入した番号を参照しながら詳細に説明し、併せてその効果も詳細に記載する。なお、できるだけ実験データを添付する。

6. 発明等の要点

特許権を取得したい範囲すなわち、発明等の構成にぜひとも必要な要件を記載する。

なお、この要件の記載は箇条書形式でもよい。

また、方法の発明の場合は、その使用装置も新規で発明を構成すると思われる場合は方法の発明とともにその装置の発明も併記する。